

オペラシアターこんにゃく座公演

オペラ **アルレッキーノ**

原作……カルロ・ゴルドーニ
 (田之倉修 訳による)
 脚本・演出……加藤直
 作曲……萩京子



小田善久 (デザイン) 伊波二郎 (イラスト)

二人の主人を一度に持つと

今日一日の泣き笑い
 お調子者の召使いアルレッキーノが
 二人の主人に仕えて
 てんやわんやの大騒ぎ!

個性豊かなキャラクターたちが
 パワフルに歌う、歌う?
 これぞ、猛烈喜劇オペラ!

Arlecchino

7月14日 (水)

開場 18:00 開演 18:30

Opera theater Konyakuza

◇ 他団体の例会日程 ◇

静岡	7月15日 (木)	18:30	清水	7月21日 (水)	18:30
	7月16日 (金)	13:00	沼津・伊豆	7月30日 (金)	13:00
				(沼津市民文化センター)	

他団体での観劇を希望される方は、事務局までご連絡ください。

アルレッキーノ

【あらすじ】

ここは、ヴェネツィア。

クラリーチェは、恋人シルヴィオと結婚間近。

だが、死んだはずの婚約者フェデリーゴが現れる。

ところがこの男は、恋人フロリンドを追ってやってきた、

なんと！男装した妹のベアトリーチェだった。

すれ違いばかりで、なかなか出会えない

ベアトリーチェとフロリンド。

ひょんなことでこの二人の召使となった

道化のお調子者アルレッキーノ。

二人の主人に同時に仕えれば、給料も食事も2倍！

と、うまいこと立ち回っていたのだが・・・、

次第にボロがでて、てんやわんやの大騒ぎ！！



原作：カルロ・ゴルドーニ
(田之倉稔訳による)

台本・演出：加藤直

作曲・音楽監督：萩京子

美術：乗峯雅寛

衣裳：太田雅公

照明：服部基

振付：山田うん

舞台監督：八木清市

こんにゃく座について

オペラシアターこんにゃく座は、「新しい日本のオペラの創造と普及」を目的に掲げ、1971年に創立されました。母体となったのは、東京芸術大学内で1965年から12年間にわたって活動が続いた学生たちのサークル「こんにゃく体操クラブ」です。このクラブでは、故宮川睦子氏（元東京芸術大学名誉教授）指導のもとに、身体訓練と演技の基礎訓練が行われました。この「こんにゃく体操クラブ」出身者たちにより、自国語のオペラ作品をレパートリーとし、恒常的にオペラを上演する専門のオペラ劇団としてオペラシアターこんにゃく座は設立され、巡回公演を開始しました。

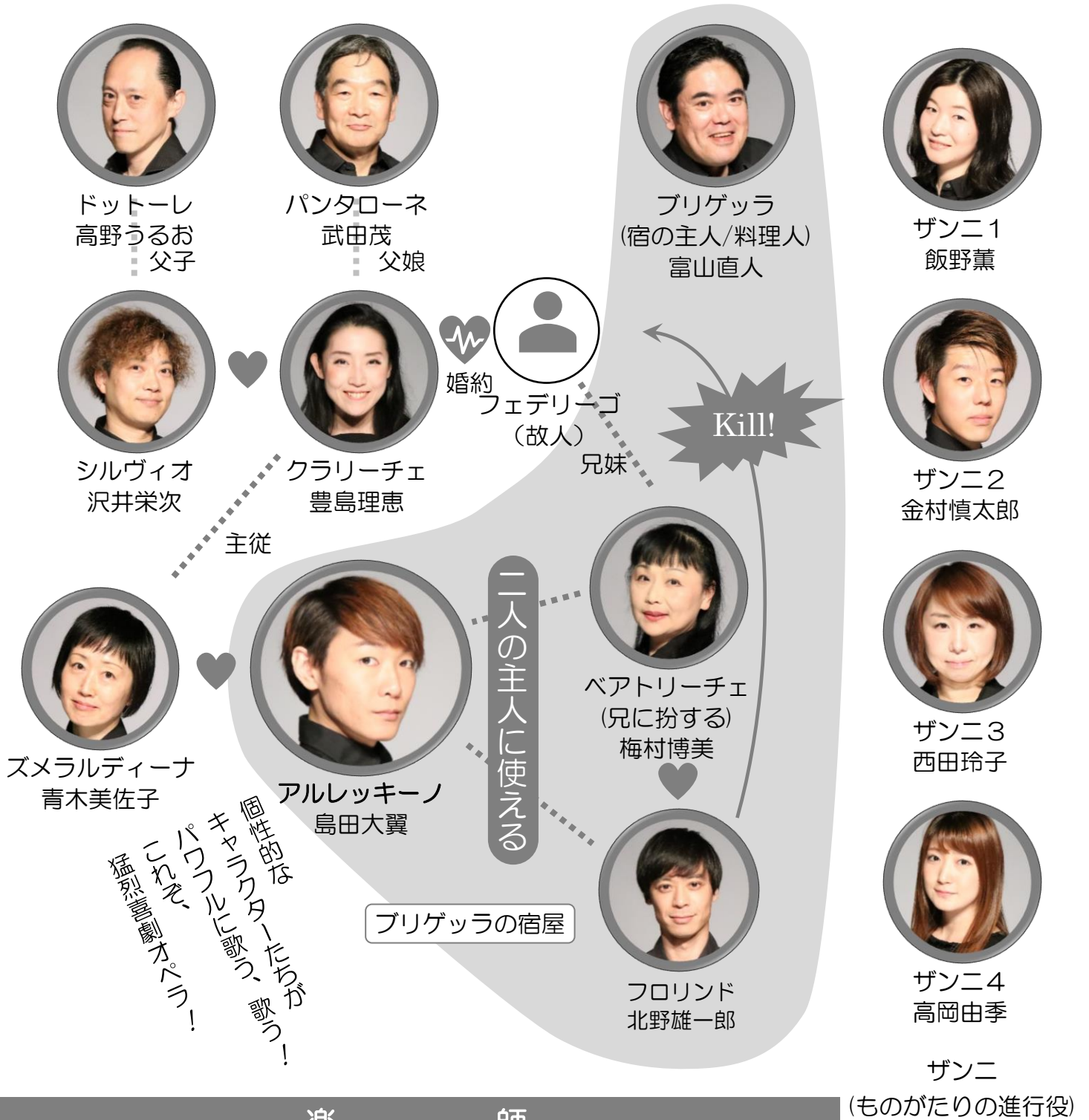
日本にオペラが紹介されてから今日に至るまで、日本では、ヨーロッパで通用するオペラ歌手の育成に力を注いできています。その結果、日本語を歌う技術がなおざりにされ、観客は聞き取れない日本語の歌を聞かされ続けています。そのなかで、

こんにゃく座はよく聞き取れる、すなわち内容の伝わる歌唱表現を獲得することを、創立当初からの目的とし、その成果は各方面からの評価を得るに至っています。

こんにゃく座はまた、オペラの演劇性を重視し、こんにゃく体操で培われた身体性を駆使し、演出面にも斬新な発想を提示し続けています。そして大掛かりなグランド・オペラの方角はとらず、ピアノのみ、あるいは小編成のアンサンブルの演奏と少人数の出演者による作品を創作し、数多くの上演を重ねています。

作曲家・林光（1931－2012）は1975年より音楽監督、座付作曲家を、1997年より芸術監督を務めました。現在、萩京子を代表・音楽監督とし、約40名の歌手を擁し、年間およそ250公演の上演活動を続けています。

キャスト



楽 師



ヴァイオリン
手島志保



クラリネット
橋爪恵一



アコーディオン
佐藤芳明



ピアノ
服部真理子



『しあわせの雨傘』感想

セレブの良妻賢母で主婦を全うしてきた女性にもちよつとした秘かに温めていたものが全開された。今こそ妻より、母より、優雅に勇ましく会社再建に立ち向かう女性の姿は美しい。賀来さんがみごとに変身する姿に、観劇する私は、計り知れないパワーをいただきました。

映画・テレビでしか観たことのない本物の俳優さんが目の前で芝居をしている。信じられない!! 賀来さんの演技素晴らしい。やっぱりお芝居は舞台の上の生のお芝居が最高ですね。

小ホールも音響は決して良いとは言えませんが、このホール、殆ど聞こえなかったです。チラシを前もって読んでいても舞台に入っていけませんでした。22列で観ました。遠くて見えにくいのと、聞こえにくい場面もあり残念でした。次回からは双眼鏡持参で来ようと思いました。内容は楽しく面白かったです。

最初は言葉がわかりにくく何なのと思いましたが、やはり実力

のある俳優さんらしくグングン引き込まれていきました。賀来さんの美しさ、軽快な演技とても感激しました。ストーリーが見事な舞台、出演者も上手く組み立てられ後味の良い演劇でした。

セリフが時々聞きにくい。前半終えてその影響からストーリーの面白さ、感動等がない。後半は盛り返した感じだったが、今回はちよつと残念な感じだった。

賀来さんの可愛らしい姿がとてもよかったです。

よく聞き取れませんでした。ホールのせいでしょうか。自分の耳のせいなのか。今後会場は、どうなるのでしょうか。

最初のうちは聞き取りにくかったけど、だんだん聞き取りやすくなった。

社長として実権を握り活躍する姿に、女性の持つパワーすごいと実感。

「登場人物の掛け合いがとても楽しいですが、所々声が聞き取りにくいのが残念です。やはりホールで観たいと思いました。久々の洋物で、名前を覚えるのが大変ですね。

楽しませていただきました。ただ音響が悪いのか、会場のせいなのか、聞きづらくて・・・残念でした。

皆さん熱演で気持ちはよく伝わりましたが、早口のセリフがちよつと聞きにくいのが残念でした。女性の声はその傾向が強かったです。

初めは、お芝居のスタイルがよくわからなかったのですが、だんだん「フレンチコメディ」という意味が解ってきました。富士市のこどもセリフに加えるなどは、生の舞台ならではのですね。まさに今の時代の大切なテーマと、明るく軽いタッチで表現していて、楽しく観ることができました。早くコロナが収束し、小ホールで鑑賞できる日を願っています。

音響効果が悪かったのか、声が聞き取りづらく大変残念でした。俳優さんの顔ぶれがテレビで見慣れた方々でしたので楽しみにしていました。賀来千賀子さんのスタイルの良さに軽快な動きがとっても素敵でした。遠野なぎこさんは、イメージ（私の）と違った身のこなしが滑稽でしたが、心

むものでした。コロナで大変な時期ですが、楽しませていただきました。カーテンコールでの賀来さんのお心遣いの言葉に感謝です。

運営担当の声感想

遠ざけられていた日本、否世界文化の演劇文化を久しぶりに拝見させていただきました。鑑賞するためbestな位置（場所）を検討し、前後左右に移動して役者の動き語りを聞きやすく見やすくしていただいたのがドラマの大きな力となりました。感動も増加しています。主役の賀来千賀子さんの演技に特に引き込まれっぱなしでした。2時間30分の長い演劇が終了し最後の大拍手は素晴らしいが十分伝わった表れました。劇団の皆さま有難うございました。（ル・フラン）

「兄妹と結婚？」さてどういう展開になるのか！と気をもんでいたら、なんとそういうことですか。さすがフレンチコメディというだけのことはありますね。深刻なことが笑いとばせてとても楽しいひと時でした。

今回事情があつて、会員の方にもお知らせして次回は全員で楽

しめるようになりたいと思っております。運営の皆さまお疲れ様でした。ありがとうございます。

コロナ禍での開催、お疲れ様でした。1回10列で観劇しましたがセリフがかなり聞き取りにくく、横を向いてのセリフは特にわかりづらい場面が多かったです。2幕では、わざと笑いをとる様な演技(?)と思われ「エッ!喜劇だったの」というのが本音の感想です。

(熊谷良子)

都合で富士で観られず、静岡のお堀のそばの静岡文化会館に行ってきました。昼の1時からでしたので良かったです。賀来さんがさわやかでとてもよかったです。私たちの重い感じをふっ飛ばすようなさわやかな終結でした。期待以上でした。文化会館の2階からの鑑賞でしたが、音がよく聞こえました。検温はパソコンで同時に通過する3人くらいを一度に検温できスムーズな運びでした。歓迎のポスターや人物相関図は富士の方がぐっと良かったと思います。

(あけびの実)

楽しく劇を観させていただきました。賀来千賀子さん本当に素敵

でした。(四季の会)

背景の傘型の窓が素敵でした。時にのどかな田園風景、時にストライキの赤い旗がたなびき、時にピンク色と、心象を効果的に映し出していました。

もちろん、主役の賀来千賀子さんには真つ赤な上下のジョギングウェアで登場するや、抜群のスタイルの良さと赤に心を掴まれました。彼女の華やかさとコケテ

イッシュな演技が舞台を支えていましたね。井上純一さんの喜劇役者振りも可愛らしかったです。意外だったのは、多分フランス人ならここで笑うよねという場面で笑えず、「やっぱり私は日本人なんだ」と再認識したことです。「男と女、愛し合うのが当然、結ばれ離れた別の人を愛す、泣いて笑って、それが人生」的な涌き上がる感情への素直さに「ええっ」となる。多分私の血に流れる儒教とか仏教の戒観、義を尊ぶ感覚が、本人も気づかないところで瞬時に肯定を阻んでしまうのでしょうか。でも、こうやって、異質な感性に出会って、改めて自分に気づけるのも芝居。違和感に出会って自分の感性を広げる機会にでき

るのも芝居。やっぱり芝居は面白い。(ポニーテール)

運営サークル活動に参加して

清水の友達を誘ってみました。お芝居を観ることは好きなのはわかっていますでしたが、集金を毎回するのは面倒なようで、1年分だといくら?等聞いて、一人でなく二人分払うのは少し?となって、そのままになっしまいました。もう少し詳しく話してみようと思っています。

(四季の会)

富士宮に移り、細々と4名でサークルを新たに作り参加しています。今回、入会以来初めて運営サークルの活動に参加させていただきました。大変楽しかったです。そして有意義な会議でした。公演開催までに、こんなに裏方の支えがあるとは。50年来の会員の方の芝居への愛。勧誘活動への情熱が熱く語られました。皆さんで協力して、シールを分けたり、座席を組み合わせたたり、そして何よりもお迎えのためのポスター作り。学生時代の文化祭の準備のような楽しさでした。次回から会場に入ったらず、歓迎のポスターをじっくり見ようと思いました。皆さんも傘のたくさん並んだ飾りをご覧になりましたか?虹のかかったポ

スターも!(あけびの実)

運営サークル会に参加できなかった日もあり、担当の皆様にはご迷惑をおかけしました。当日の役目は皆さんに決めていただき大変助かりました。終演すこし前に会員3名とアンケート回収をやりました。皆さんお疲れの様子の中にも、見終えた満足感があふれていました。いろんな人たちがいて協力して観劇が成り立っているということを改めて思いました。良いものですね。会員のお誘いにはお二人にしましたが、夜は出たくないということでもうまくいきませんでした。

(JOYRIDE)

コロナの新たな変異株が日本でも検出され、一向に収束がおぼつかない中、友人たちに劇団の窮状を訴えたところ、少しでも支えになればと3人が入会してくれました。有り難い一言です。生の芝居の面白さで長い付き合いになれるように切望するばかりです。当日は、Tシャツとパンフレットの物販を担当しました。声掛けにもまごまごしていると、団員さんが登場。「エー、Tシャツいかが?」と多彩な声色の売り子振りにおかしくて、楽しいお手伝いができました。(ポニーテール)

『しあわせの雨傘』 運営サークル活動のまとめ

フランス喜劇を専門とする劇団NLT大人のフレンチコメディの傑作!!

賀来千賀子さん主演に期待が高まる。

第一回目 1月29日

例会を成功させるためには、まず仲間を知ることとまずは自己紹介。入会のきっかけ・サークル名の由来・心に残った作品等を交えて話が盛り上がる。話の中からも、この会の良さや理念に繋がる言葉がいっぱい溢れる。この例会は私たちが担い成功させるのだという意識が共有できた。運営担当リーダーも決まり、リーダーだけでなくみんな分担し合おうと諸々の係も決めた。

第二回目 2月10日

「文七元結」の感想を交えて自己紹介。ある。退会者数が37名とコロナ禍にあつて厳しい数字であるが、どのサークルからも目標が出されたが出された数字ではクリアに到達しないが、あらゆるところに声をかけをし、メディアも利用し活動を広げていくことと確認。また、鑑賞会の良さ(いろいろなジャンルのお芝居が定期的にみられる、県内の他の会場でも見られる等)もしっかり伝えていくことと話し合う。

第三回目 2月25日

活動の様子を出し合う。また、前回目標の提出がなかったサークルから目標の提出を「迎える喜びの追求こそ鑑賞運動における第一義的課題」のプリントをみんな読んで読み合い再確認と意識の高揚を図った。

サークル全員で新入会の声掛けをしようとして伝えているが、そこがまだまだ伝わっていない。

第四回目 3月12日

運営サークル会立ち上げから1ヶ月半たつが1サークル3名の入会のみ。みんな声掛けしているが、コロナによる自粛でよい返事がもらえず、

苦戦。新入会がなかなか進まないが、リーフレットを配布し諦めないで声掛けしていくこと、一人一人の声掛けが一番大事と励まし合う。となみ演劇鑑賞会が「く放映された動画を見たり、藤枝市民劇場会員の方新聞投稿記事を読んだり、全国の仲間も頑張っていることを知り勇気づけられるもの、結果が出ていないのでやや意気消沈気味。

第五回目、3月31日

会員の方が新聞に投稿した記事をみんなで読み合わせる。みんなの感想本音は、「お芝居は心の栄養、お芝居がなくなったら寂しい、困る」等。

例会日の歓迎パネル、メッセージボードの作成をみんなで作業。こういう活動は和気藹藹と楽しく、みんなの力で素晴らしい出来栄え。入会の勧誘もこの様にいけばいいのだが・・・。例会当日の役割分担を決め、残り2週間、誰に声掛けするか具体的に上げ、最後まであきらめずに取り組み、連絡を密にしていくことを確認。

まとめのついで 4月21日

女性の自立、フランス風恋愛模様。まさに「大人のフレンチコメディ」と、言いつつ辛口の部分もあり、舞台装置も素敵で存分に楽しめた。

思うようにお誘いの活動ができなかったが、精いっぱいやった。次につながるよう継続

して声かけはしていくこと。コロナ禍で先が見えないが、みんなで知恵を出し合い、よく考えれば何か見つけることができるかも。この難局を乗り越えていきましょう。



サークル数	77
サークル増	0
サークル減	7
±	-7
会員総数	462
入会	5(1.0%)
退会	37(7.5%)
±	-32
例会参加率	88.1%

運営担当サークル	ポニーテール	BIBA!	四季の会	カンバラ会	JOYRIDE	希望
マドカ	彩	HAMA	夕焼け雲	ル・フラン	池田サークル	あけびの実

運営担当サークルの皆さんお疲れさまでした

次例会のおしらせ

No.271 例会

2021年 9月 10日(金)

ロゼシアター大ホール

開場 18:00 開演 18:30



文学座公演

怪談 牡丹灯籠

原作 三遊亭圓朝

脚本 大西信行

演出 鶴山仁

出演 富沢亜古、早坂直家、大原康裕、沢田冬樹 他

上演時間：2時間15分

怪談 牡丹灯籠


カラン…コロン…闇夜に響く下駄の音……

人の業はお化けよりも怖いとよく言われますが、この話はまさにそれ。新三郎に焦がれ死にしたお露が幽霊となって新三郎を憑り殺すのは話のほんの一部。色と金に目が眩んだ人間たちの因果応報を描き、お峰と伴蔵夫婦の丁々発止の遣り取りに腹を抱えた客席は、やがてゾツとする結末へと導かれる……。この作品は1974年の初演以来、86、95、98年と杉浦、北村の二人が夫婦役を演じ、小気味のいい丁々発止のやりとりで知られ節目節目を飾ってきた文学座の財産演目。今回、鶴山による再構築の結果全く新しい「ネオ和物」となって生まれ変わりました。テンポの良さはそのままに、斬新な構成舞台と明かり処理により、この世とあの世の境を巧みに表現しました。新しい文学座の到達点にご期待ください。

重要なお知らせ

- ・会費納入 8月会費 7月27日(火)～8月6日(金)
9月会費 8月24日(火)～9月3日(金)
- ・退会締切 7月 21日(水)
- ・シール配券
『怪談牡丹灯籠』 8月24日(火)～31日(火)
- ・事務局休み 8月12日(木)～17日(火)

『怪談牡丹灯籠』 担当サークル

じゃがいも	杏	富士子ども劇場	やまたのおろち
カトレア	ソレイユ	水の樹	フレンズ
丸啓	BOKE	青い鳥	レモンのいれもん
スカイブルー	富士	おとめざ	

- ★ 例会翌日は、事務局は休みです。
- ★ 毎月の会費納入は、基本的には 月末の25日～月初め5日 です。
※例会等の関係で変更になることがあります。
- ★ 例会運営サークルの集いの日程は、担当のサークルリーダーにお知らせします。
- ★ 退会する場合は、退会締切り日までに手帳裏表紙の退会届に必要事項を記入の上、事務局へ提出して下さい。
※電話やFAX、郵送での退会受付はできません。
※入会1年未満の方と退会締切り日後の退会は認められません。ご了承ください。

【事務局からのお願い】

不要になったハガキや切手がございましたら、例会会場、または、事務所にお持ちいただけると大変助かります。それぞれ未使用であればどんなに古いものでも結構です。

富士山演劇鑑賞会

富士市元町12-26 田中ビル101号
TEL 0545-63-9201 FAX 0545-62-1687
Eメール fj_simingekijou@ab.thn.ne.jp
http://web.thn.jp/ fj_simingekijou/
ホームページ [富士山演劇鑑賞会] で

観劇のマナーを守って 楽しく「かんげき」しましょう

- ・携帯電話の電源は切りましょう
- ・開幕前は静かに待ちましょう
- ・お話は上演終了後にゆっくりと
- ・客席での飲食はできません